

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受理番号	4615	受理年月日	令和8年5月7日
件名	民間保育園に対する指導等		
要旨	<p>私たちの子供がお世話になっている 保育園では、令和8年3月31日20時27分の新年度前日に、園の専用アプリを通じて、職員9名の退職という衝撃的な通知が突然配信された。しかし、十分な人員補充がないまま新年度が開始されており、保育体制の維持に極めて大きな不安を抱いている。</p> <p>園長先生も交代したが、それらについての経過の説明も十分ではない。前園長の退職のいきさつについては、これから裁判になる予定だと法人からは聞いている。給食も令和8年4月1日から、事前の説明も通知もないまま、給食が外部からの配食に変わり、子供たちからは、今日はお弁当だったという声を聞き、連日のようにおなかすいたと訴える姿に、親として胸を痛めている。私たちは、以前のように年齢を問わず、以前のような園内調理方式へ早急に戻すことを切に願っている。一者連の経緯についての説明を求めているが、法人は、必ず説明会を開催すると保護者へ明言した約束をいまだに果たしておらず、令和8年4月6日には、一方的に質問箱の設置という形にすり替えられた。更に深刻なのは、保護者の正当な要望を脅威と見なし、保護者からの質問や連絡に対して非対応又は一方的に対応を中断するなどして、不必要な場面で警察へ通報したりするなど、園側から歩み寄る姿勢が感じられない。正当な意見を述べる保護者やこれまでの園の功労者である前園長を不当におとしめるような発言が見受けられる。</p> <p>令和8年4月24日に配信された質問箱への回答も、保護者の切実な声に耳を傾けるどころか、逆にひぼう中傷の自制を求めるなど問題をすり替える内容で、問題視している様子が見られた。園側からは、園長交代に至る経緯についても質問箱の回答にて説明があったが、その内容は極めて不十分であり、肝腎な核心部分が欠落している。</p> <p>園側は園長交代の理由を定年退職と説明しているが、これは事実をわい小化した虚偽に近い説明であると断じざるを得ない。前園長は65歳という定年年齢には達しているものの、本人には引き続き園にとどまり、子供たちのために尽力したいという就労意志があった。しかし実際には、関係者の聴き取りにより、現経営陣による退職勧奨や辞職を迫る威圧的な言動が確認されている。そもそも現園長には、過去の在籍時から職員への言動が問題視されていた経緯があり、現場との正常な協力体制を築けない資質上の問題があった。その結果、現園長の就任が通知された令和8年3月16日、この体制下での就労継続は心身共に不可能と判断せざるを得なかった多くの職員により、一斉に退職届が提出されるという異常事態を招いた。こうした複数の証言と合致する実態がある以上、形式上の定年という言葉を利用して、功労者である前園長を不当に排除し、更にその実態を隠して保護者に円満な交代であるかのように装う姿勢は著しく誠実さを欠くものである。</p> <p>一般に児童福祉施設の運営は、子供たちの豊かな発達と成長のために、法人と職員、保護者とが、それぞれの立場と役割を踏まえつつ、力を合わせて、また年齢や内容に応じて子供たち自身の声も聞きながら、進められるべきだと考える。また、民間園とは言っても社会的に公的な役割を担い、公費で運営されているところから、公の規制に服することは言うまでもない。このような、自らの意に沿わない者を排除し、その過程を隠蔽・正当化するために保護者や前園長を悪者に仕立て上げる運営体制は、教育の場として極めて異常であり、看過できるものではない。民間法人の自主性を踏まえつつ、京都市としても市町村の保育責任を果たす立場から、必要な指導・援助・助言をすべきだと考えており、これらは保育施設としての信頼を著しく損なう異常な運営体制と言わざるを得ず、行政による速やかな介入と指導を強く求め、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職員退職の後、その補充をして安全な保育体制を確保すること。 2 前園長の退職経緯を定年とわい小化せず、不当な退職勧奨の有無を含む真実を保護者に開示すること。 3 給食弁当の栄養管理や提供量の実態を精査し、以前のような園内調理方式への復帰を含め、子供たちの健康を守るための改善を命じること。 4 説明責任を放棄し、事実を隠蔽する現経営陣の適格性について、厳正に審査すること。 5 その他、園の運営についての保護者からの質問に対し、一方的な主張の押付けを改め、保護者との誠実な対話の場を設け、保護者に対し誠実かつ透明性の高い説明の場を設けるよう法人を強く指導するとともに、京都市自身からも、私たちに対し、これらの経緯について説明する機会を設けること。 		
陳情者			
回付委員会	文教はぐくみ委員会		